

大津司郎氏講演会 報告書

○日時：2007年11月9日（金）19：00～20：30

○場所：（財）自治体国際化協会 市民国際プラザ

○テーマ：『ルワンダの内戦がどうして起こったのか、そして私たちは…』

○講演会の目的：

アフリカに長く関わってきた方に講演をしていただくことで、よりアフリカについての理解を深め、日本・私たちとのつながりに気付いていただき、次の行動につなげてもらう。

○講演の内容：

1994年に起きたルワンダの内戦がなぜ起きたのか、歴史的背景を含めてお話いただいた。ハビヤリマナ大統領（フツ族）の暗殺により本格化したとされるルワンダの内戦、フツ族によるツチ族へのジェノサイド（大量虐殺）で80万とも100万とも言われるツチ族が殺害された。となればハビヤリマナ大統領を暗殺したのはツチ族で、それへの報復としてツチ族が標的になったと考えるのが自然の理論である。しかしながら、大津氏は「ハビヤリマナを暗殺したのは同じフツ族とも考えられる。」という。それは「この国を混乱状態に起きたかったから」だそうだ。自分の国が混乱状態になることを望む国民がいて、そのために大統領まで殺害してしまう。私たちにとっては到底考えられない、現代の紛争の背景には、大国の思惑・武器・利権・資源などさまざまな原因が錯綜する。ルワンダ、そしてアフリカの内戦が、「民族同士の争い」だけでは説明できない理由とは？

○参加者数：37名

○参加者が参考にした情報媒体：

友人の紹介11名（市民国際プラザ担当清水より3名、世界自然保護基金（WWF）、かながわ開発教育センター（K-DEC）イベント）／メーリングリスト8名（まぐまぐ、国際協力マガジン、アフリカ日本協議会（AJF）、拓殖大学ファシリテーター養成コース）／市民国際プラザ web サイト5名／その他 web サイト4名（アフリカオンライン web、JANIC、IDJ ネット）／新聞2名（朝日）／その他2名

○参加者の所属内訳：

会社員10名／学生7名（上智大学2名、東京学芸大学）／教育関係者3名／地域国際化協会1名（CLAIR）／NGO・NPO5名（サパ、国際協力NGOセンター）／自治体2名（越谷市、CLAIR）／その他4名（東京大学医科学研究所病院）

○満足度平均：92%

<講演会の評価・今後について>

今回の講演会では、参加者が予想以上に多く、会場の狭さなどを心配していたが、それについて不満は聞かれなかった。アンケートには、35名の方から回答をいただき、その中から見えてきた講演会および企画展において、改善が必要な点と、評価できる点（今後も続けていきたい点）を報告する。また、この結果を次回以降の企画展で活かせるようにしていきたい。

（改善が必要な点）

①もっと話が聞きたかった（時間が短かった）（多数）

→かなり多くの方から、時間が短かった、もっと話が聞きたかったという意見をいただいた。講師との打ち合わせで「あまり長く話しすぎるとだれるし、キリがない。目的はきっかけを持って帰ってもらうことなので、1時間で十分」ということになったが、講演の終わり方があまりにも「中途半端」に感じてしまった参加者が多かったのも事実である。これを改善するには、もう少し具体的に講演の内容を事前に知らせること、レジュメのようなものを作成すること（そのようなアドバイスをアンケートでいただきました）、「この講演会のゴール」を来訪者に提示することが必要だと思われる。

②もっと知りたかった（ルワンダの内戦とコンゴとのつながりについて／ルワンダの現状／日本のジャーナリズムについての大津さんのご意見／大津さんの原動力の源等）

→質問の時間が、20分程度しか取れなかったため、特定のテーマに関してもっと知りたかったという意見が多数あった。全ての質問に答えることは出来ないが、講演と質疑応答の間に休憩時間などを設けて、質問を紙に書いて集め、まとめて大津さんに答えていただくなど、工夫が必要だと思われる。実際は、1人の人がいくつも質問をしていたので、「1人1回」と制限を設けることも対策として考えられる。

③社会人でも参加しやすい日程や時間帯も企画していただけると嬉しいです。

→19時からでも早すぎる、土日に開催して欲しいというご提案で、プラザの運営体制上、実現が難しい。ただ、今回の企画展では、開館時間の延長日を1日しか設けなかったことが反省点としてあげられるので、今後は、ワークショップ・講演会を含め、企画展期間中に2日間は設定するように心がけたい。

（評価できる点、今後も続けていきたい点）

①参加者の次の行動に結びついた

自分から発信していかなければならない（多数）／この後自分の中でじわじわくると思います／関係する本を読んでみようと思いました。参加してよかった／職場で、「外国の文化と言語」というイベントをしているので、次回は Africa をやってみたい／大津さんさえよければ、大学の方で、お話をして下さい。メールを頂けると幸いです／アフリカへのスタディツアーおもしろそうです。HP みてみます／大津さんのように、広く世界を見て、僕ら世代で新世界を造れるよう、たくさん勉強します／ホテルルワンダをもう一度見たくなった。最近、アフリカのことをもっと知りたいと思っていたので、とても興味深かった。話をきくのもいいけど、目で見ること大切だなと思った

※参加者の次の行動につながったことは、非常に評価できると考えている。（岡山県国際交流協会においては、本講演会がきっかけとなって来年2月に「アフリカ」をテーマとしたセミナーの実施が決定し、クレアの自治体国際協力アドバイザー制度に登録している（特活）アフリカ日本協議会代表の林達雄さんと、大津さんの二名が講師として呼ばれることになった。）関連書籍、おすすめの情報についても、今後続けていきたい。

②アフリカ理解・日本とのつながりに気付くきっかけになった

メディアが伝えないアフリカの現状 frontline を知ることが出来てよかった（多数）／とても身近に

自分の日々に関係することだと感じる事が出来た。(多数) /ルワンダの genocide について、分かり、関心を持つきっかけになった /今回聞いたお話が、日本以外の先進国では当たり前であることがショックだった /今回は全体像を知ることができた。今まで、アフリカに関心を持っていた部分がより大きくなった /あまりにもアフリカの情報が日本にはなくて残念です。大津さんのような方の力は貴重です /

やはり、アフリカの人々の視点に立った開発・援助・支援が求められていると感じます

③企画展そのものへの期待が高まっている

“真実”を知る企画展をこれからも期待している /また何かやる時連絡下さい /アフリカ関係 (絶滅危惧動物、教育開発、アフリカ基礎知識+応用 (詳細)、ルワンダの全てと今)、開発事業の問題点などを知る企画展をやって欲しい /現状の NGO・NPO や法人 (日本企業) が現地で貢献していることを教えてほしい /あまりニュースで報じられていない内容もありがたい、逆にニュースになっているけれど裏側があるような話もきいてみたい

※たくさんの方にアンケートに答えていただき、次にやって欲しい企画に関してもさまざまな意見をいただいた。特に、NGO・NPO・企業の貢献や、自治体の持っている技術やノウハウに関しても知りたいという意見があり、モデル事業などになっていなくても、先見性のある自治体の国際協力事例などを紹介することも企画展のテーマとして可能だということを見出した。